

# 末梢血幹細胞等を温度管理下で輸送する際の梱包手順書

<ご確認ください：バンクからの送付物と各物品について>

物品名	個数	用途	使用前の準備	注意事項
保冷 BOX	1	庫内を一定温度に保ったまま運搬可能な BOX	(特にありません)	—
蓄冷剤 (水色)	1	庫内温度を一定に保つために BOX の蓋内側部分に挿入	<u>-15℃以下の冷凍庫</u> で 24 時間以上凍結	—
保冷剤 (ピンク)	3	PB のバッグの温度を一定に保つために使用	<u>2~8℃の冷蔵庫</u> で 12 時間以上予冷	<b>凍結厳禁</b> <b>※破損の恐れあり※</b>
手順書	1	(本用紙を指す)	—	—

## <梱包手順>

※下記の手順書に従い、蓄冷剤および保冷剤を準備の上、ご使用ください。

1. **蓄冷剤**を-15℃以下の冷凍庫で 24 時間以上凍結させる。



3. 保冷 BOX を用意する。(常温)



2. 末梢血幹細胞を冷蔵庫で保管する際、同時に保冷剤の予冷 (2~8℃の冷蔵庫で 12 時間以上)を開始する。



4. 保冷 BOX に**保冷剤①**を 1 枚入れる。



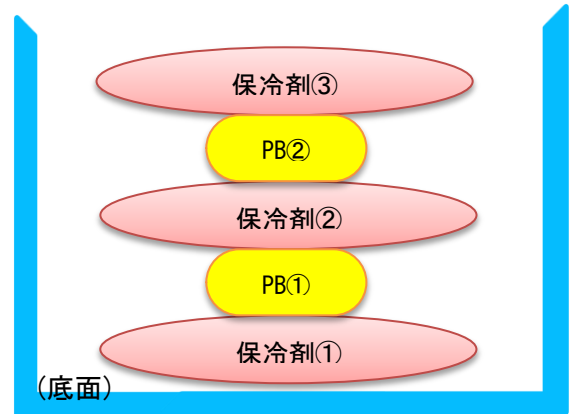
5. 保冷剤の上に末梢血幹細胞を入れる。



6. 末梢血幹細胞の上に、保冷剤②を置く。



7. 末梢血幹細胞が2バッグの時は、保冷剤②の上に末梢血幹細胞を置き、その上に保冷剤③を置く。(下記はBOX 断面から見た図)



8. 蓄冷剤を蓋の内側のネットに挿入し、蓋を閉じて完了。



この手順書は BOX と一緒に骨髓バンクにご返却ください